

2022年 10月 28日



たてくるジオパーク

だより 第51号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階
MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204
f https://facebook.com/tatekuro

立山カルデラ砂防博物館特別講演会 & 立山黒部ジオパーク大地を探るリレー講演会のお知らせ

「雲仙普賢岳噴火災害を振り返る & 日本人のエベレスト登山」

長崎県島原半島で起こった雲仙普賢岳噴火災害から今年で30年を迎えます。災害の風化が進む中、あらためて国内の多くの方々はその災害を知っていただく機会を設けることを目的に、全国で巡回展が開催されています。災害と向き合った30年間のお話を特別講演会でぜひお聞きください。

また、2021年日本人の世界最高峰エベレスト登頂から50周年を迎えました。エベレストと日本人とのかかわりを振り返り、富山県人初登頂の様子を講演会で紹介いただきます。

- 1 日時 2022年11月3日(木・祝日) 開場9:30 閉会15:00
- 2 場所 立山カルデラ砂防博物館 大型映像ホール
- 3 プログラム *詳しくは添付ファイルをご覧ください
 10:00 ~ 講演「雲仙普賢岳噴火災害を振り返る」
 講師：杉本伸一(雲仙普賢岳災害記念館 館長)
 11:00 ~ 対談「雲仙普賢岳と近年の噴火災害」
 講師：杉本伸一(雲仙普賢岳災害記念館 館長)
 伊藤和明(NPO 法人防災情報機構会長、元NHK解説員)
 13:00 ~ 講演「日本人のエベレスト登山」
 講師：佐伯知彦(立山ガイド協会)
 神長幹雄(公益社団法人日本山岳会)

4 申し込み 不要 5 参加費 無料



博物館では、写真で振り返る普賢岳の噴火災害と日本人のエベレスト登山についての展覧会も実施しています。12月8日まで行われています。こちらの方にもぜひご来場ください。

活動報告

☆10/21~23 第12回 日本ジオパーク全国大会白山手取川大会

立山黒部ジオパークの隣、白山手取川ジオパークで全国大会が開催されました。全国各地のジオパークから、自治体職員、専門員、研究者、ガイド等たくさんの方々が集まって3年ぶりに盛大に行われました。白山市挙げての歓迎ぶりに、全国大会に寄せる熱意や期待の大きさを感じさせられました。



大会に先立ち、立山黒部ジオパークエリアでもプレジオツアーを2日間行いました。北海道から九州まで全国各地のジオパークから26人の方々に来県。ジオガイドさんの案内で称名滝や呉羽山、マス寿司などを楽しまれました。さすがにジオパークに関わるの方々、地形やその成り立ちについて質問が行われる等、ガイドさんとのやり取りも専門的だったとのことです！

次ページへ続く⇒

<プレジオツアー>
神通川の歴史について



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



☆10/21~23 第12回 日本ジオパーク全国大会白山手取川大会

大会テーマ「地球と旅するー白山手取の地から地球と人の未来を考えるー」

開会式では、新たに十勝岳ジオパーク、五島列島（下五島エリア）ジオパーク、霧島ジオパークの方々から日本ジオパークに認定されました。これで、日本ジオパークは全部で46地域に広がりました。1日目の分科会や、2日目の口頭発表、ポスターセッション等では各地域のジオパークの活動紹介がありました。どの場でも参加者は熱心に発表に耳を傾け、自分の地域のジオパーク活動に生かしていこうと質問が飛び交っていました。

また、立山黒部ジオパーク支援自治体会議会長 武隈義一黒部市長がジオパークの市町村等セッション「世代を超えてジオパークの今と未来を考える」に参加されました。

ジオパークはSDGsとかかわりが深いと言われています。自然や文化、人々の営みを育む大地を、持続可能性を考えていく大きな礎としながら、どのようにそれを守り活用していくか…どのジオパークも同じような課題を抱え頑張っています。

ジオパークの活動を支える各事務局、専門員、学芸員、ガイド等、それぞれの立場から、ジオパークの活動を活発にして次世代へ未来へとつなげていこうとする熱い思いが伝わってくる3日間でした。来年は関東ブロックで全国大会が開催される予定です。



<開会式セレモニー>



<分科会2> ジオパークはSDGsの教育としてどんな地域教材を提供できるのか



<口頭発表> 守る

立黒 GP「下立の大理石」 <ポスターセッション> 写真展の取組
立山黒部 GP × 富山県自然保護協会



日頃お世話になっている方々と、久しぶりに直接ことばを交わせる機会となりました。ガイド認定制度の更新や、IT技術を活用した交流の場の設定など、他地域ジオパークの新しい動きを知ることができました。

初めて全国大会に参加しました。参加者の多さと、規模の大きさに驚きました。ポスターセッションの会場では、全国各地からの参加者と意見交換を行いました。各ジオパークの取り組みや悩みを共有することができてよかったです。

白山市が総動員して全国大会に取り組んでいる様子がヒシヒシと伺えました。ユニフォーム(?)を着用しているジオパークが多く、かつ元気なのは驚きました。多くの小学生、中学生、高校生等が、学校でジオパークの意義・郷土愛について学んでいることに感心しました。

初めて参加しましたが、想像していたより大規模な大会で、開催地のみなさんのご苦労に感謝です。老若男女を問わずジオにかける熱い思いを感じました。また、ポストジオツアーでは、暴れ川である手取川の脅威を知ると共に、長い時間と労力をかけてこられた先人の多大な尽力を知り、富山との共通点が多いことに気づきました。

☆9/26.27.29 富山大学全学横断 PBL

富山大学の全学部の3年生を対象にした全学横断PBL(課題解決型学習)が今年も行われました。学生が14テーマに分かれて企業、行政、NPO等の専門家に助言や示唆を受けながら、課題解決の方法を自分たちで見つけてプレゼンを行います。

テーマは「私達だからできるこれからの起業」「富岩運河を活かしたまちづくり」「廃校の新たな活用方法を考える」など多彩です。何度か意見を交換する機会があり、29日に行われた発表の場にも出席しました。どのグループもテーマに沿って斬新かつ面白い切り口で、またより具体的に課題解決に導いていました。

今年はこの中にジオパークをテーマに取り上げた「ジオパークで遊びをデザイン」グループが登場。ジオパークとは何かを知ることからスタートしましたが、最後には神通川と片貝川の流域別に大地の高低差を活かしたツアーを計画してくれました。富山の美味しい食材を集めたジオフードの提案も。具体化するには重ねての協議が必要ですが、ジオパークを住民に広く知ってもらおうと工夫したアイデアを実際に実施できると面白いと思えました。



富大生発案の「富山ジオパーク教室」

☆10/1 「埋もれ木サミット」

テーマ「地域のお宝?ただの枯れ木?」
埋没林の活用について考える」

第3回埋もれ木サミットが魚津市新川文化ホールで開催されました。地中に埋もれた森の化石を地域の宝として活かしていくためにはどのようなことが必要か、島根県立三瓶小豆原埋没林公園からは観光での活用について、仙台市富沢遺跡保存館埋没林からは教育での活用について提案発表があり意見を交わしました。途中で埋没林に関するクイズも盛り込まれ、参加者から笑い声上がるなど、穏やかな雰囲気で開催されました。

魚津埋没林博物館は埋没林の歴史や現在の活用の様子について発表し、ジオパーク協会では教育用のコンテンツとして使用できる動画とバーチャルジオツアーを提案しました。

日本各地の埋没林等を紹介する展示や、魚津埋没林に関する自然を体験できるワークショップも行われました。



動画作成の目的と経緯について
國香研究教育部会長



好評をいただいている動画

「The Fossil Forest 森の化石」

魚津のジオガイドさんが中心になって作成した埋没林の秘密に迫る内容です。YouTubeで公開されています。埋没林って何?という方にもおすすめです。

The Fossil Forest
森の化石

<https://www.youtube.com/watch?v=ygcgOa4DKwo&t=4s>

☆10/2 チャレンジライドにいかわ

3年ぶりに開催された「立山黒部ジオパークを駆け巡ろうチャレンジライドにいかわ2022」ライドにはスタッフ合わせて約250人が参加。

高低差の大きい上り坂に必死の様相でしたが、無事ゴールの際には、笑顔満開でした。協会で作成した完走証のパネルを手に写真撮影。

自転車ライダーの方々の多いことにびっくりしました。気持ちよく風を切って走る姿がとてまかつこよかったです。

最近各地でライドが開催されています。来年、会員の皆さんも立山黒部ジオパークの扇状地の広さと高低差を体感してみたいかがですか？



出発前のコースの確認



きつい坂に脚がパンパン



参加された方の感想が以下のブログに掲載されています。立山黒部ジオパークの魅力が伝わっているようです。
<https://cycletod.blogspot.com/2022/10/1002022105.html?m=1>

お疲れさまでした！

☆10・15 富山県民ボランティア大会



毎年富山市の大和横グラウンドプラザで行われているボランティア大会。ジオパーク協会の活動紹介等を行いました。
 とりのりのブースは富山県自然保護協会さんで、4月の写真展のようになりました。

☆＜出前授業＞

9/21・22 富山市立広田小5・6年

10/4 立山町立釜ヶ淵小学校6年

10/10 滑川市ジオパーク学習

10/12~14 上市町6年ふるさと学習

自治体からの授業等の依頼が増え、上市町のふるさと学習も3年ぶりに教室から現地へ。稲村露頭の大きさに子供たちも先生方も驚いていました。自分達の住む地域の良さを学ぶ教育については、教育課程との関連やジオパーク教材の選び方などについて工夫を重ね、五感で気づき、なぜ？を学ぶ活動を一層進めていきたいと思っています。



広田小5年 川のはたらきの実験



広田小6年 防災教育
ハザードマップと地震



釜ヶ淵小6年 稲村露頭観察



上市町6年 釈泉寺露頭観察



滑川市 親子ジオパーク学習
早月川・五厘堤



上市町6年 稲村露頭観察

お知らせ

国際山岳年プラス20 シンポジウム in 黒部 「我ら皆、山の民」ー現在と未来ー



シンポジウムでは2002年から20年間で問題となった課題を踏まえ、未来に向けて日本や世界の自然環境と人々の暮らしの持続的発展を科学的視点で議論します。この成果を富山県黒部市から日本だけでなく世界へ発信していきます。

- 1 日時 2022年12月10日(土)～11日(日)
- 2 会場 黒部市芸術創造センター セレネ
- 3 内容

世界の山岳地域の持続的発展：山岳国キルギスからの問題解決と貢献 アシベック・アイダラリエフキルギス国際大学学長による講演をはじめとした多彩な講演やセッションが2日間にわたり開催予定です。講演者やセッションの参加者等の詳細については、以下のアドレスからご覧ください。

<https://www.yamanohi.net/report.php?id=2359>

宇奈月温泉開湯100周年イベントとして開催されるシンポジウム。立山黒部ジオパークは特別協賛しています。



国際山岳年プラス20 シンポジウム in 黒部
「我ら皆、山の民」ー現在と未来ー

2022 12.10(土)～11(日)

会場：黒部市芸術創造センター セレネ

入場無料

このQRコードからもご覧いただけます

- 12月10日(土)
- 9:30 開会式
 - 10:10 講演 I
 - 11:10 山小屋と登山道の取り組みと安全への歩み
 - 13:30 山岳地域災害と復興の経緯
 - 15:15 山岳地域の自然資源の保護・保全対策
 - 17:10 講演 II
- 12月11日(日)
- 9:00 講演 III
 - 10:00 山岳ジオパークの現状と国民への普及
 - 12:30 山岳地域の観光利用拡大による注意点
 - 14:30 クロージングセッション



立山黒部ジオパーク TATEYAMA KUROBE GEOPARK

GEOPARKS JAPAN

十二貫野用水

黒部峡谷エリア

十二貫野用水と椎名道三
荒れた台地に水田を拓く

十二貫野用水は、黒部平野の南部に位置する河岸段丘状の丘陵地帯の十二貫野一帯 220ha を潤す用水で、その長さは分水路を含めると 30 kmにも及びます。

今から 180 年ほど前（江戸時代後半）、毎年の洪水で田畑は荒れ、米や作物がとれなくなる大飢饉が発生していました。加賀藩の命を受けた椎名道三（下新川郡大熊村）は十二貫野用水の開削に取り組みました。測量の経験と技術を生かし、山の斜面に沿って用水路を築いて台地に水田を開き、わずか 2 年間で完成させました。用水の水源の 1 つとなる尾ノ沼谷は黒部川の一支流で、十二貫野より 100m 高い所に位置しています。ここから高い山や低い谷を越して台地まで水を運ぶ仕組みを作りました。また、分水口では下流の面積に応じてその幅を決め、水が公平に分配されるよう工夫されています。現在は大規模な改修工事で用水路のほとんどは暗渠化され、年間を通じて水が流れるようになりました。

「疎水百選」「とやまの名水」に選ばれており、立山黒部ジオパークの文化サイトとしても登録されています。

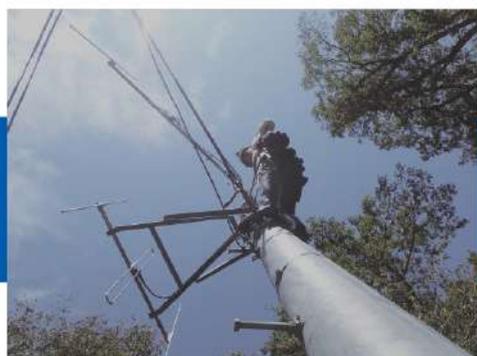


<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=79>



■ 協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介しています。



電気 × 防災 × IT

電気設備または通信設備の工事並びに保守・点検
メンテナンスを行っています

-- 営業品目 --

ビル電気設備 / 空調設備 / 衛星通信設備 / 地域防災情報
消防設備 / 河川・水防情報設備 / 気象情報
航空無線設備 / 警響・放送設備

日本海電業株式会社

本社 / 富山市手塚三丁目 8-33 支社 / 富津市宮津 238-1
<https://nihonkai-dogyo.co.jp/>



株式会社
ジオインフォシステム

〒931-8334 富山市千原崎 1-7-17

TEL(076)471-8211 FAX(076)471-8233

<編集後記>

全国大会に参加していろいろな方々とお話をしました。

ヨガ体験も楽しめるツアーを行う実は猟師もしてる十勝 GP のガイドさん、人員が減って活動に悩む五島列島 GP の自治体の方、GP の仲間になるのに 12 年間足踏みして力をためていますと笑う讃岐 GP 構想委員長さん、ガイドも高齢化して持続不可能になるのが心配な白山手取の学習支援員さん、南紀の言い伝えを本にしている実は南海トラフ地震が心配な南紀熊野 GP の方…などなど、各地の魅力や実情を聞いていると、出かけて行ってその地域のジオパークの良さを体感したくなりました。また、他の地域と比べることで立山黒部の魅力を新たに発見できるのではと思いました。ジオパークってネットワークだと改めて思います。いろいろな方の意見を聞きながら協会の中でも工夫しました取組んでいきたいと思っています。

立山連峰はこのところの冷え込みで白い雪をかぶった雄大な姿を見せています。下界の方は紅葉の便りが聞こえてきていますね。会員メールでお知らせした黒部峡谷トロッコ電車、称名滝など天気の良い日には立山黒部ジオパークを楽しんでいただけたと思います。

コロナとインフルエンザ対策&防寒具を忘れずに
お出かけください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。特に、オンラインの事業や動画編集等について得意な方を探しています。

興味のある方は、立山黒部ジオパークのホームページをご覧いただくか、立山黒部ジオパーク協会 (076-431-2089) までお問い合わせください。